

新規事業採択時評価結果（平成16年度新規事業化箇所）

担当課：九州地方整備局 道路部 地域道路課

担当課長名：西川 勝義

事業名	一般県道 ^{もとよしおがわ} 本吉小川線（瀬高インター）	事業区分	地方道	事業主体	福岡県
起終点	自：福岡県 ^{やまと} 山門郡 ^{せたか} 瀬高町 ^{もとよし} 大字本吉 至：福岡県 ^{やまと} 山門郡 ^{せたか} 瀬高町 ^{もとよし} 大字本吉	延長	1. 1 km		

事業概要

一般県道 本吉小川線は瀬高町大字本吉から大字小川を結ぶ延長約2 kmの路線である。本路線と九州縦貫自動車道の交差部付近に瀬高インターチェンジを一般県道 本吉小川線として整備するものである。

事業の目的、必要性

本道路に位置する筑後地域は、県南部にあり、福岡都市圏や熊本県への近接性という地理的優位性に恵まれているが、高速交通ネットワークの整備等が十分ではなく、石炭産業衰退後の産業構造の変化に伴う、人口の減少、高齢化の進展、産業活動の低迷など地域の活力は衰退している状況にある。

九州縦貫自動車道が通過する瀬高町に新たにインターチェンジを整備することにより、周辺地域の開発計画と高速道路との連携を強化し、瀬高のみならず筑後地域全体の活性化に大きく寄与するものである。

全体事業費	27億円		計画交通量	4,200台/日	
費用対効果分析結果	B/C 3.2	総費用 32億円 （事業費：24億円 維持管理費：8億円）	総便益	101億円 （走行時間短縮便益：95億円 走行費用減少便益：5億円 交通事故減少便益：1億円）	
			基準年	平成15年	

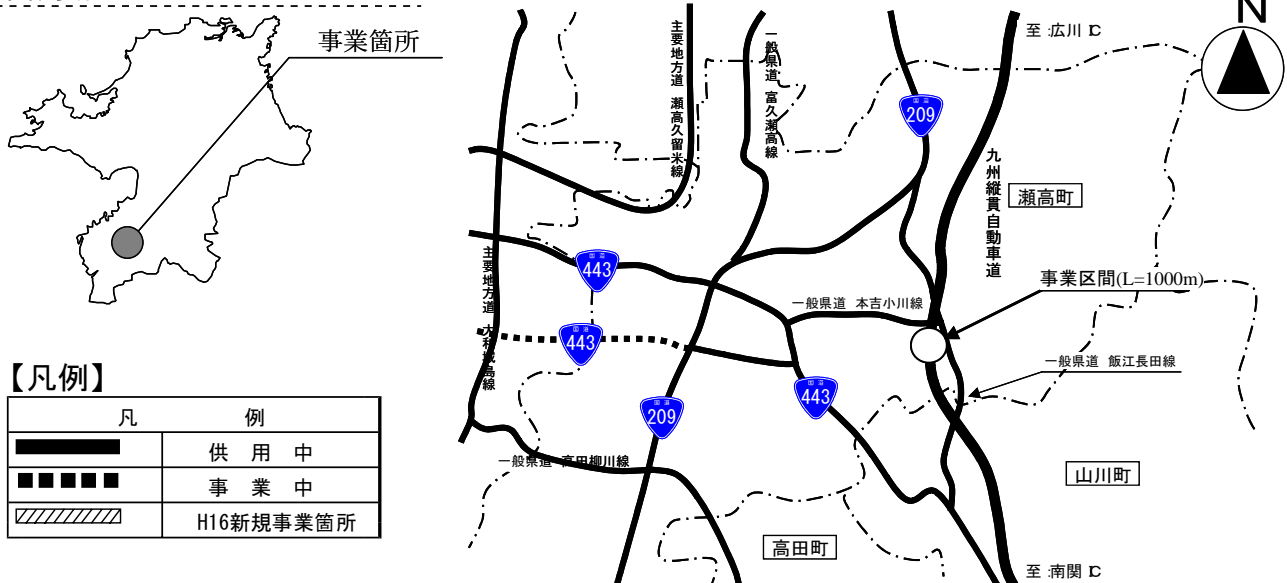
事業の効果等

個性ある地域の形成（主要な観光地（柳川市）へのアクセス向上が期待できる）
他プロジェクトとの関係（他機関との連携プログラム（満足シティ構想）に位置づけられている）
他 4項目に該当（定量的評価項目を含む）

関係する地方公共団体等の意見

1市5町で構成される「瀬高インターチェンジ建設促進期成会」より毎年要望を受けている。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。